

2022

7

No.326

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらり人。”
任命しました！



ふくし“きらり人。” 吉田 知良 さん

Contents

- 2 3 新会長からの御挨拶
新副会長からの御挨拶
「災ボラ STANDBY」紹介
- 4 5 社会福祉事業従事者研修のご案内
介護職員初任者研修支援事業のご案内
レクリエーション研修開催のご案内
e-スポーツ体験報告会
新型コロナウイルス感染症に伴う
生活福祉資金特例貸付に関するお知らせ
- 6 7 地域福祉活動レポート
リスカ株式会社
- 8 9 ふくし“きらり人。”
ひまわり館・ひまわりキッズ館
吉田 知良 さん
- 10 福祉のお仕事 PR
貸付（介護・保育）紹介
- 11 インフォメーション
- 12 わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。

「新会長および新副会長からの御挨拶」

会長就任あいさつ

このたび、令和4年7月1日に開催された理事会において、茨城県社会福祉協議会会長に選定されました。就任に際し、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

著しい少子化による人口減少、超高齢化社会の進展に伴う一人暮らし高齢者の増加など、様々な地域生活課題が顕在化しております。

私は、本会の理念である「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指し、本県において地域福祉を推進する中心的な存在として関係機関と連携し、皆様方のお力添えをいただきながら、様々な課題に対してその使命を十分に発揮できますよう、役職員一丸となって、努力してまいります。

どうぞ、県民の皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。



会長 竹之内 章代

副会長就任あいさつ

このたび、令和4年7月1日に開催されました理事会において、茨城県社会福祉協議会副会長に選定されました。その職責の重大さに、心しております。

昨年7月2日、本会は、県庁において、いばらきダイバーシティ宣言を行いました。「みんながつながり、理解しあい、手に手を取り合ってくることができる、福祉コミュニティづくりを進め、これからも、皆様と共にダイバーシティ、ソーシャル・インクルージョンを一層進め、地域で支えあい、みんな一緒に幸せを共有できる地域づくりを目指します。」この宣言を守り、県、市町村社会福祉協議会、関係機関、団体、企業等と連携、協力し、県民の皆様のふだんのくらしの幸せのために、尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副会長 森田 百合子

特集「災ボラSTANDBY」紹介

災害ボランティア活動支援のための特設サイト「災ボラ STANDBY」を開設しました！

災害ボランティア活動の支援を行う特設サイト「災ボラ STANDBY」を、3月30日に開設しました。

このサイトは、本会と茨城県が共同運用し、平時から災害活動に関する情報を災害時には「災害ボランティアセンター開設情報」や「災害ボランティア募集情報」等を総合発信することで、支援活動が円滑に、そして効果的に行われるようサポートすることを目指しています。

ぜひ御覧ください！

【災ボラ STANDBY ⇒ <http://saiborastandby.jp/>】



特集「災ボラSTANDBY」紹介

いざという時に役に立つ「ボラ識」

「ボラ識」では、災害ボランティアが被災地へ向かう際に「災害時における高速道路利用料金の無料措置」を受けるための方法や、活動するうえで必要となる主な資機材を一定数保管している「資機材ストックヤード」の説明、災害ボランティア活動支援体制のターニングポイントとなる災害を概説している「災害ボランティア活動の歩み」などが掲載しています。



SPECIALコンテンツ

特集「初めての災ボラ活動」では、災害ボランティア活動の基本となる心構えや準備について、シリーズで説明しています。これから災害ボランティア活動にチャレンジする方だけでなく、経験者の方にも是非ご覧いただきたいコンテンツです。



大規模な災害に備え、災害ボランティア活動等に役立てる「茨城県災害ボランティア活動支援基金」のご案内も掲載しています。

あなたもぜひ、活動に参加してみませんか？



「茨城県災害ボランティア」登録

災害時にボランティア活動をしていただける方や団体の皆様には、「茨城県災害ボランティア」の登録をお願いしています。

登録いただいた方には、災害ボランティアに関するイベント情報のほか、県内での災害発生時には、災害ボランティアセンターの開設状況や災害ボランティア募集に関する情報などをメールで発信しています。

なお、登録期間は、その年度末までとなります。



社会福祉事業従事者研修のご案内

社会福祉事業従事者研修事業は、茨城県内の社会福祉施設・事業所等に従事する役職員の更なる資質向上を図るため、職種別・階層別にさまざまな研修を実施しています。

職員の定着の観点からも、組織として、研修計画を立てて取り組みましょう。

研修システムページに、今年度の研修体系表及び月別予定表を掲載しており、今年度は45本の研修を開催予定です。

(9月に開催予定の研修)

- ✓社会福祉士実習指導者養成研修 9月4日(日)・18日(日)
- ✓BCP研修 9月8日(木)
- ✓社会福祉施設等職員安全運転研修 9月10日(土)
- ✓ファシリテーション研修 9月15日(木)・16日(金)
- ✓チームリーダー研修 9月28日(水)

◎Zoomを使ったオンライン研修は20本以上あります。演習も多く取り入れており、他の事業所の方と意見交換し、刺激しあうこともできます。

◎会場集合型研修も目的に合わせて取り入れていきます。

◎詳細は、「茨城県社協研修システム」ページをご覧ください。

問 福祉人材・研修部
TEL : 029-244-3755



研修システムページはこちら



介護職員初任者研修支援事業のご案内

～高齢者介護の仕事をする方の資格取得を応援します～

茨城県福祉人材センターでは、次の方を対象に、介護職員初任者研修の受講費用の一部助成事業を実施しています。

■助成対象

- (1) 介護職員初任者研修を修了後、県内の高齢介護施設・事業所に就職した方
 - (2) 県内の高齢介護施設・事業所に就職後、介護職員初任者研修を修了した方
- ※その他、研修終了時期や就職時期等に条件があります。

■助成額

9万円(上限)

※事業所が支払った場合は対象外です。

■募集期間

令和5年3月15日(必着)まで

※募集期間内であっても、予算の上限に到達次第、終了します。

■助成人数

80名(先着順)

詳しくはホームページをご覧ください。茨城県福祉人材センターまでお問合せください。

問 福祉人材・研修部
TEL : 029-244-4544

レクリエーション研修のご案内

講師：CoCoLa(カンファタブル・コミュニケーション研究所)代表
小久保 信幸 氏

1 基礎研修会

①高齢・障がい編

対象者：高齢者及び障害者施設の職員でレクリエーション経験が5年未満の方

日 時：令和4年10月6日(木)、13日(木)

午前10時30分～午後4時30分

会 場：令和4年10月6日(木)

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階 多目的ホール(水戸市)

令和4年10月13日(木)

茨城県南生涯学習センター 多目的ホール(土浦市)

②子ども編

対象者：保育所(園、認定こども園)、児童養護施設、障がい児支援施設の職員で5年未満の方

日 時：令和4年10月7日(金) 午前10時30分～午後4時30分

会 場：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階 多目的ホール(水戸市)

2 ステップアップ研修会

対象者：本会のレクリエーション基礎研修会を修了した方又は、レクリエーション経験が5年以上の方

①高齢・障がい編

日 時：令和4年11月10日(木) 午前10時30分～午後4時30分

会 場：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階 多目的ホール(水戸市)

②子ども編

日 時：令和4年11月11日(金) 午前10時30分～午後4時30分

会 場：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階 多目的ホール(水戸市)

定 員：全日程とも30名

参加費(全ての日程1日につき)：3,000円(資料代・材料費)

問 福祉事業部 TEL : 029-244-3147

シニアのためのeスポーツ体験会を実施しました！

高齢者の生きがいと健康づくりを応援する茨城わくわくセンターでは、今年度より新規事業として『eスポーツ』に取り組んでいます。5月に実施いたしました体験会の様子をご報告いたします。

1 eスポーツとは？

『eスポーツ』とは、エレクトロニック・スポーツの略で、ゲーム（デジタルゲーム・テレビゲーム）を使う、頭脳と手先のスポーツです。若い世代を中心に人気ですが、認知機能の維持改善が期待され、高齢者施設や自治体でも取り組まれています。60歳以上の方で構成されたプロチームが誕生するなど、シニア世代にも広がりを見せ、茨城県内でも高齢者施設で健康増進効果の実証実験が始まるなど注目が集まっています。

2 シニア向けeスポーツ体験会を実施しました！

去る5月11日（水）に体験会を実施しました。まず初めに、今回の体験会実施にご協力いただきました、茨城県産業戦略部産業政策課の担当のお二人からeスポーツについての講話をいただき、その後、実際にコントローラーを手に体験をしました。皆さん、最初は緊張されていた様子でしたが、練習をするうちに、めきめきとスコアが伸びていき、最後の団体試合では一戦、一戦に歓声が上がりました。対戦の勝った、負けただけではなく、お互いを応援し、試合を見て笑い合うことで、明るく和やかな1時間となりました。

健康リスクを高める要因の一つが、孤立や孤独と言われており、eスポーツには、通常のスポーツと同じ『人との絆を育む』要素があります。茨城わくわくセンターでは、老若男女問わず、同じ土俵で競技ができるというeスポーツの側面と、対話による絆づくりのツールとしての側面に着目し、世代間交流のきっかけや新たな仲間づくりの手法として活用できないか検討しながら現在取り組んでおります。7月28日にも同様の体験会を実施する予定ですので、ぜひ、機会が合えば体験会にご参加ください！皆さんの新しい挑戦を応援しています！



体験会の様子

問 わくわく事業推進部 TEL：029-243-8989

「新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金特例貸付に関するお知らせ」

○これから貸付を申請される方

県社協では、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対して、生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）の特例貸付を行っています。

生活にお困りで申請を希望される方は、お住いの市町村社協にご相談ください（申請期限 令和4年8月31日）。

○すでに貸付を受けている方

現在、県社協では、生活福祉資金特例貸付の償還免除に係る申請を受け付けています。

今年度が住民税非課税による償還免除の申請対象となる資金種類は、令和3年度までに申請を受付け、貸付決定をした緊急小口資金及び総合支援資金（初回貸付）です。

今年度の償還免除申請対象の方には、償還免除に係る案内を送付しておりますので、申請に係る要件などをご確認ください。

償還免除申請の期限は令和4年8月31日（消印有効）です。申請をされる場合には、期限までにお手続きください。

貸付に関することや償還・償還免除に関することについてのお問い合わせは、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

問 生活支援部 TEL：029-297-6526 平日8:30～17:15

（電話が繋がりましたら、貸付に関することは1を、償還・償還免除に関することは2を選択してください）



リスカ株式会社



「笑顔と幸せな時間のために、お菓子を贈り続けています」

長年にわたり県内の福祉施設にお菓子を寄贈

リスカ株式会社は、茨城県常総市に本社を置き、菓子・食品等の製造販売を行っている企業です。1971年の創業以来、独自性を重視した製品づくりに励み、スーパービッグチョコ、うまい棒、ハートチップルなどおなじみのお菓子を製造しています。同社では、茨城県内の児童養護施設・障がい児入所施設・子ども食堂・特別養護老人ホーム等に、県社会福祉協議会を通して長年にわたりお菓子を寄贈しています。寄贈を始めた理由や、企業としての現在の取り組みなどについて、リスカ株式会社の広報ご担当者にお話をうかがいました。



▲本社工場入口看板

「お菓子で笑顔になっていただきたい」という思いから

同社がお菓子の寄贈を始めたのは、今から20年ほど前になります。そのきっ

かけは、「近隣の施設の方々に、弊社の商品で少しでも笑顔になっていただけたらと思いお贈りしています」と、ご担当者。福祉施設への寄贈は、創業者である武藤則夫会長の提案で、リスカのお菓子を食べることで施設の利用者やスタッフが幸せな時間を過ごして欲しいという思いで長年続けているということです。「寄贈を続けるなかで、心に残る出来事はいくつもあります。施設で栽培したプランターの花を届けていただいたこともあり、とても印象に残っています。また、お菓子をお渡しするたびに、お礼の手紙が施設の利用者さんやスタッフさんから届き、お菓子が美味しかったことや感謝の言葉などをいただいております。お菓子を寄贈することで、今後も企業として頑張っていこうという元気をいただいています」とご担当者は話します。寄贈されている回数は年4回ほど、毎回40か所以上の福祉施設、2,000人から2,500人にお菓子が届けられます。

「ハート・マインド」な愛されるお菓子づくり

同社のお菓子づくりのコンセプトは、「ハート・マインド」。鮮度と味にこだわった原料と高度な製造技術、そして心を込めてつくる作り手の姿勢が国内

外で高い信頼を得ています。「ハート・マインドに込められた思いは、リスカのお菓子を食べていただく皆さんの楽しさと安らぎの生活場を、より一層盛り上げられるように工夫を続けていくという思いです。今後は原料と製法にさらなる工夫を加え、安全と健康をテーマとして、さらに幅広い年齢層や地域の皆様に喜んでいただきたいと考えています。美味しく、安心・安全で健康的なお菓子を低価格でご提供するために、企業として努力を重ね成長していきたいと思っております」とご担当者は話していました。



▲石下工場製造4課外観

創業時から安心・安全・低価格を目指して

同社が追求する安心・安全・低価格は、創業時から変わらぬ企業理念となっています。「1971年の創業時、日本は高度経済成長期で、マイホームを持つために共働き世帯が増加し、お母さんが子どものおやつを手づくりする時間も取れないようになっていました。そのような時に、より低価格でより安全で安心して、子どもたちが味とボリュームにも満足できるようなお菓子をつくり

たいと、創業者の武藤則夫会長がリスカを築きました」と創業時の思いを話すご担当者。以来、一貫してこだわり続けてきたことは、「安心、安全かつ美味しいものをつくる」というテーマです。「お客様のニーズと期待を先取りし、心から喜ばれる製品の開発を目指して、活発にアイデアを出し合って議論を重ねています。社員たちの熱い思いが結集して、末永く愛される商品が誕生しています」とのこと。今後は、アジア諸国のニーズにも応えていきたいと意欲的です。

地域や社会に貢献していく企業でありたい

同社の工場は県内に4か所、本社のある常総市につくば工場・石下工場、大子町に大子工場、常陸大宮市に水戸工場があります。企業と地域との関わりについて大切にしたいことをうかがうと、「弊社が近くで運営をしていて良かったと思っていただけるように、地域の皆様の生活のご迷惑にならないように工場運営を行なっています。福祉施設へのお菓子の寄贈以外にも、自然災害が発生した時などには日本赤十字社を通してお菓子を被災地にお届けしています。地域との交流や社会貢献については、地域の皆様からご依頼やご要望があれば、できる範囲のことについては今後ともご協力させていただきたいと考えています」と話されました。美味しく健康的なお菓子をつくり続けるリスカの歴史は、たくさんの人びとの笑顔と楽しい時間の歴史です。

ふくしまっぴい。



よしだ ともよし
吉田 知良さん

社会福祉法人木犀会 ひまわり館・ひまわりキッズ館



笠間市にある、ひまわり館・ひまわりキッズ館は、障がい児者や高齢者の社会的自立をサポートする社会福祉法人木犀会が運営する事業所です。

ひまわり館では家庭で生活する障がい者の自立性の向上と社会参加の促進のため、入浴・給食・送迎等の介護、日常生活訓練、室内作業やレクリエーションを通して生きがいのある生活の援助に取り組んでいます。ひまわりキッズ館は放課後デイサービスの施設で、就学児から高校3年生の障がい児の放課後の活動支援・生活訓練を行なっています。吉田知良さんは、同施設の生活支援員・児童支援員として障がいのある方に寄り添い、利用者の日々の成長に喜びとやりがいを感じています。

障がい児施設での実習で、楽しさを感じた

吉田さんは、茨城キリスト教大学で福祉を学びました。「実習で障がい児施設に行き、障がい児と触れ合うことが楽しかったので、その後もボラン

利用者が目標を達成した時、 自分も嬉しくなる。



ティアで障がいのある子どもたちといっしょに遊んだり、サッカーをしたりしていました」。卒業後に同施設に就職し、今年で8年目になります。現在の仕事の内容は、ひまわり館では日常生活の支援や作業のサポート、レクリエーションの企画・運営、ひまわりキッズ館ではレクリエーションを中心にワークトレーニングを指導しています。ワークトレーニングは一人ひとり内容が違い、プリントで塗り絵をしたり、字を書く練習、計算問題などを行います。

自分たちには当たり前でも、利用者の中では違う時もある

仕事のやりがいは、「利用者が目標を達成したいと自分に相談してくれて、それが少しでもできるようになった時、とても喜んでくれるので自分も嬉しくなります。自分たちは当たり前だと思っていることも、利用者にとっては当たり前ではないということを常に考えながら、小さな成長を目標に取り組むことにやりがいを感じます」。自分で顔を洗ったことがない、化粧をしたことがない、レクリエーションをしたことがないという利用者に、同施設では様々な体験を提供しています。

洗顔や化粧は、おしゃれタイムを設けて実際に体験します。レクリエーションでは、輪投げやストローを使った早飲みなどの競技を行う「ひまリンピックトリ」を年一回開催、「やりたいことキャンペーントリ」では買い物、映画館での映画鑑賞など、利用者の希望を聞いて実施します。コロナ禍で年1回の日帰り旅行が中止となったため、旅行はリモートで楽しみました。「ハワイにリモートで行って観光し、移動販売のハンバーガー屋さん施設に来てもらいハワイ気分ハンバーガーを食べました。みんなで一緒に準備をすることから楽しみが始まっています」と、好評だったイベントを振り返ります。

福祉の仕事の魅力は「助け合い」

仕事で大変だと感じることは、突発的な行動に対する対応で、常に一人ひとりを気にかけているそうです。「それぞれの利用者に目標や課題があり、どうしたら同じ場所にみんなで一緒にいられるかなど悩んだ時には先輩に相談します。自分にできないことや得意でないことをこなしているのを見るとキャリアを感じます。職員間ではもちろん、利用者も一人ひとりが協力しないとできないことが多いので、助け合いというところに福祉の仕事の魅力を感じています」。

まず一步を踏み出すことから始めよう

「利用者に関わり話を聞くことが多いので、聞き上手の人が福祉の仕事に向いている」と言う吉田さん。「何を訴えているのかコミュニケーションが難しい方もいるので、話ができないときは表情や仕草で理解していきます。表情を見れば、喜んでいたりとかあまり好きじゃないとかがわかります」と相手と関わること、理解することの大切さを話します。福祉の仕事に興味を持つ方へのメッセージとして、「まずは最初の一步として、障がい者と触れ合う体験やボランティアから始めてください。障がい者が運営するお店に行ってみたり、笠間市では障がい者と地域住民の運動会が開催されていますので、参加してみてください」とのことです。

今後の目標は、「障がいのある方への理解をさらに深めていくこと」という吉田さん、利用者が好きなもの興味があることを見たり体験したりして、そこからコミュニケーションが始まるのだそうです。「この仕事はずっと続けていく、みんなと一緒に楽しむことが好きだから」と話すきりり人です。



福祉分野の求人情報ならこのサイト!



福祉のお仕事

検索



福祉分野の求人情報関連WEBサイトで日本最大のサイトです!

求人情報だけでなく、各施設の理念・サービスや福利厚生などの詳しい情報、福祉系イベントなどの最新情報も掲載していますので、是非御利用ください。

福祉の仕事の情報がいっぱい活用できるね!



問 福祉人材・研修部
TEL: 029-244-4544

資格を活かした再就職等に貸付金をご利用ください!

介護や保育の資格をお持ちの方が、介護事業所や保育所などに再就職等するための資金を貸し付けています。2年間業務に従事すると返還が免除されます。

<介護職の方向け>

○離職介護人材再就職準備金貸付金
介護職の実務経験があり、再就職する方が対象です。
貸付金額 上限40万円

<保育士の方向け>

○潜在保育士就職準備金貸付金
保育所等に再就職、又は新たに就職する方が対象です。
貸付金額 上限40万円

○未就学児保育料一部貸付金
未就学児がいて、新たに保育士として勤務する方又は産休育休から復帰した方が対象です。
貸付金額 保育料の半額を1年以内(月額上限有り)

※詳しくはホームページをご覧ください。

問 福祉人材・研修部(人材自立育成担当)
TEL: 029-350-8366

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ぶくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

ケガの補償	保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
		死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術	入院中の手術	65,000円		
	保険金	外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○
賠償責任	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)		
	年間保険料		350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

INFORMATION

紹介

県内の 新設福祉施設です！

新設施設の紹介

- 特別養護老人ホーム 成華園サテライト
社会福祉法人 正和会
定員／ 従来型 29名
〒319-1222
日立市久慈町 3-18-11
TEL：0294-54-2385
FAX：0294-53-9222
- 特別養護老人ホーム みどりの郷福原
社会福祉法人 みどりの郷
定員／ ユニット型 50名
〒309-1634
笠間市福原字新谷 59-1
TEL：0296-71-7170
FAX：0296-74-5750
- 特別養護老人ホーム 美野里陽だまり館
社会福祉法人 愛の会
定員／ 従来型 80名・ユニット型 30名
〒319-0124
小美玉市花野井字中丸 358-55
TEL：0299-57-6761
FAX：0299-57-6762



募集

いばらきねんりん文化祭 (第27回 茨城県健康福祉祭)

令和4年度 ほく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵を募集しています。

【テーマ】

祖父母や曾祖父母、近所のお年寄りなどの高齢者がいきいきと活動している姿や、子どもたちなどと交流している姿で、温かみを感じられるもの。

【応募期間】

令和4年7月11日(月)～
9月30日(金)

【応募資格】

県内小学校、義務教育学校(前期課程)及び特別支援学校小学部の児童

令和3年度知事賞作品
(低学年の部)



「おばあちゃんのカレーは せかいー」
羽田穂乃葉 石岡市 東成井小学校2年

問 わくわく事業推進部
TEL：029-243-8989

募集

県社協の会員を募集しています！

県社協の趣旨・目的にご賛同いただける会員の方を広く募集しております。会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

- ・正会員
県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等
- ・賛助会員
県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費

県社協の会員規程に従い所定の会費を納入して頂きます。

■会員特典

- ①県社協が実施する「社会福祉事業従事者研修」について、一部の研修を除いて、受講料が非会員に比べて1日あたり2,000円安くなります。
- ②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

問 総務企画部 TEL：029-241-1133

茨城県民間社会福祉事業従事者互助会の加入のご案内

茨城県民間社会福祉事業従事者互助会は、県内の主に社会福祉法人が経営する福祉施設及び福祉団体に勤務している職員を対象に、福利厚生を目的とした、慶弔関係給付金の給付及び資金の貸付事業を行っております。

詳細につきましては、茨城県社会福祉協議会のホームページでご案内しておりますが、ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。

問 TEL：029-241-3966 FAX：029-241-1434



わかち合おうみんなの善意 <令和4年1月~令和4年3月善意金等の預託と払い出し状況> (敬称略)

善意金

預託者名	金額 (円)
(公財) 茨城新聞文化福祉事業団	900,000
いばらきコープ生活協同組合	10,000,000
(株) ライズ (1,782円・79円)	1,861
茨城地区特称会連絡協議会	65,530
丸大食品 (株)	10,226
茨城県生活協同組合連合会	300,000
茨城県PTA連絡協議会	180,000
野木 利三郎	30,000
(株) 高知電子計算センター	1,000,000
合計	12,487,617

交通遺児福祉基金

預託者名	金額 (円)
(公社) 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会茨城県協会	100,000
J S A 中核会茨城支部	185,000
損害保険ジャパン (株) 茨城支店	18,500
(株) 明送	100,000
茨城県PTA連絡協議会	120,000
合計	523,500

善意品

預託者名	善意品	払出先名
(一社) 生命保険協会 茨城県協会	軽自動車 (福祉巡回車) 3台	結城市、銚田市、河内町の各社会福祉協議会
いばらきコープ生活協同組合	粉ミルク 51缶、子ども用紙おむつ 223個 大人用紙おむつ 114個、大人用尿取りパッド 93個	県内社会福祉施設 笠間市社会福祉協議会
	羽毛布団 2枚、毛布 4枚、 肌掛け布団 4組8枚、敷布団 2枚	県内社会福祉施設
(株) セブン・イレブン・ジャパン	食料品・日用品	常陸大宮市、水戸市、土浦市、つくば市、笠間市、 取手市、つくばみらい市、筑西市、常陸太田市、美浦村、 石岡市、かすみがうら市、古河市、鹿嶋市、城里町、 五霞町の各社会福祉協議会

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
(一社) 茨城県身体障害者福祉協議会	茨城県水戸県税事務所総務課	(株) 三福綜合不動産
岸本 哲	打越 由美子	吉田 久子
田原 純子	茨城平和大使協議会	榎並 智
常陽ボランティア倶楽部	水戸チアフルライオンズクラブ	アズビル (株) ビルシステムカンパニー茨城支店
(株) 明送	猪原 美雪	茨城県信用保証協会
住友生命保険 (相) 柏常総支社	(株) 風林	(株) 皆葉自動車
大和ハウス工業 (株) 茨城支社	プリマハム (株) 茨城工場	小泉 雅代
茨城県腎臓病患者連絡協議会		
茨城県保健福祉部障害福祉課、長寿福祉推進課、健康・地域ケア推進課 (令和4年3月までの旧名称)		
阿見町、ひたちなか市、土浦市、日立市、古河市、竜ヶ崎市、筑西市、水戸市、神栖市、小美玉市、石岡市、つくばみらい市、牛久市、北茨城市、鹿嶋市、 守谷市、常陸大宮市、五霞町の各社会福祉協議会		



いばらきコープ生活協同組合



茨城地区特称会連絡協議会



茨城県生活協同組合連合会



茨城県PTA連絡協議会



(株) 高知電子計算センター



(公社) 生命保険ファイナンシャル
アドバイザー協会茨城県協会



J S A 中核会茨城支部
損害保険ジャパン (株) 茨城支店



(株) 明送



(一社) 生命保険協会茨城県協会

令和3年度の各基金の払い出し(配分)状況についてご報告いたします

ボランティア基金

	助成金額
ボランティア団体助成 (12団体)	3,552,800円
市町村社協ボランティアセンター助成 (26社協)	7,420,880円

交通遺児福祉基金

	金額
就学奨励金 (合計12名)	880,000円
小学校卒業8名・中学校卒業4名	

善意金

	金額
指定払い出し	9,728,059円

【使用済み切手・使用済みカード等寄付の換金結果】

使用済み切手等 (約3,025,695枚)	換金額 533,600円
使用済みカード等 (約27,166枚)	
書き損じはがき (約3,544枚)	

※これらについては、ボランティア・市民活動助成金として活用させていただきます。

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>

E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

発行者 / 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

